

with コロナにおける、くらしのデザイン①  
ワクチン接種申込お助け隊



新型コロナウイルスワクチンの接種予約を開始するにあたり、コールセンターへの過度な集中を避けるため、市民にWeb予約の利用を促す必要がありました。

インターネットに慣れていない高齢者も安心してWeb予約ができるように、大学生を中心とした「お助け隊」を区役所などに配置し、訪れた高齢者に代わって接種予約を行う取り組みを実施。最も多い月（2021年5月）で、1日4,000件、予約件数の約30%をお助け隊が支援しました。緊急事態宣言下でアルバイト先の飲食店などが休業する中、学生の収入確保の場としても有意義な取り組みとなりました（登録者数2,536名）。

with コロナにおける、くらしのデザイン②  
KOBE 学生地域貢献スクラム

神戸が抱える社会課題や地域課題の解決に向けて、NPO 団体などが行っている取り組みの実体験を通じて、学生の人材育成支援、社会貢献活動への継続的な参加促進などを目的として2020年度より実施。高齢者のICTスキルの習得、こども食堂の運営、学習支援などの取り組みを通じ、若い世代が地域課題を認知するきっかけ、地域とのネットワークを築く機会を創出。学生の主体的な参加を促し、地域課題にダイレクトに接することで見つける課題の解決を支援しています。



KIITO:300 (キイト サンマルマル)



デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 3階に、こどもからシニアまで、誰もが集まり、つながることのできる場となることを目指し、「KIITO:300 (キイト サンマルマル)」を開設し、「KIITO:300 キャンプ」と「KIITO:300 ファーム」の2つの機能を設けました。

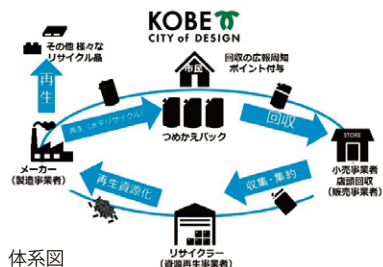
「KIITO:300 キャンプ」では、こどもたちの好奇心と探求心を刺激し、創造性を育む拠点として、ワークショップの開催、創造教育プログラムの開発、人材の育成などに取り組んでおり、「KIITO:300 ファーム」では、だれもが社会貢献に取り組み、交流できる協働と参画のプラットフォームとして、社会貢献活動の支援や相談の受付などを行っています。

## こども本の森 神戸



建築家・安藤忠雄さんの寄付により東遊園地南側に開設された、自由に本とふれあえるこどものための文化施設です。絵本や図鑑など良質で多様な図書を揃え、都心の公園の中で芸術文化、神戸の歴史と出会うことで、こどもたちの豊かな感性と創造力を育むとともに、震災の記憶の残る場所で、その教訓から命の大切さを学びます。本を通じた多彩なイベントも開催しており、他の施設や企業、団体と連携し魅力的な場を創造していきます。

## つめかえパック リサイクル (KOBE PLASTIC NEXT)



体系図



回収ボックス

年々増え続けるプラスチックによる、海ごみ問題やリサイクルの難しさなどの社会問題の現状と課題を発信し、持続可能な社会を目指すため、神戸市・小売・日用品メーカー・リサイクラーが協働し、日用品のつめかえパックを回収・リサイクルして再びつめかえパックに戻す「水平リサイクル」に挑戦するプロジェクトを実施しました。

### 情報発信の工夫①

## やさしい日本語

情報量・文字数を減らす、シンプルで分かりやすい日本語を使うなど、外国人をはじめ様々な市民が理解できるよう配慮する「やさしい日本語」。市役所内にその考え方を浸透させるため、日本語教師や外国人住民との意見交換を通じて、職員が実際の市民向け文書の改善に挑戦。読み手に寄り添った情報発信により、住民サービスの向上と問い合わせの減少を目指します。



### 情報発信の工夫②

## 若者への投票啓発

兵庫県知事選挙、神戸市長選挙及び衆議院議員総選挙等が執行された2021年。選挙ごとにデザインの違うオリジナルステッカーを投票後に希望者に配布する等、若年層を中心とした投票率の向上を目指す取り組みを実施。神戸らしいポップなデザインはSNSでも話題となり、このステッカーを利用して割引などのサービスを行う飲食店等もあり、市全体で選挙への参加を盛り上げる取り組みに繋がりました。